

# みどり山防災ニュース

発行：三輪緑山自治会自主防災隊編集委員会

三輪緑山3-1-13 ☎044-987-7495

## 自主防災隊長 就任挨拶 柏木正敏

2011年に自主防災隊を再編してから2度目の隊長に就任致します。宜しくお願い申し上げます。

さて、いま我々の日常生活は新型コロナウイルスのことに大きく振り回され、関心がそちらの方に向いています。しかし、「首都直下地震が30年以内に70%の確率で発生する」と言われる状況は何も変わっていません。むしろ、最近の東北地方の強い地震に遭遇すると改めてその思いを強くするところです。

大規模災害の時、警察や消防などの公的機関からの救助・援助の手が及ばず、我々は地域で助け合う「共助」を必要とします。住んでいる住民みんなが「共助」を作り、はたまた「共助」を頼りにするのです。その一端が自主防災隊です。

地域は着々と高齢化が進み、支援される人も支援する人も歳を取って行きます。この中で、少しでも教育訓練によってリーダーシップを取ることが出来るのが自主防災隊の面々です。ボランティア活動としての「自主防災」、発災時に集まることが出来るのはメンバーの半数以下だろうと推定します。もう少しメンバーが増えることを望んでいます。是非ともご協力をお願い致します。

## 新型コロナ禍における 2020年度主な活動報告

### ○情報・広報班

- ・2020年5月：発災時の災害対策本部における感染対策マニュアルについてのテレワーク実施
- ・防災ニュース2020年春号発行、夏号、秋号、2021年冬号休刊

### ○消火班

新型コロナ禍であった為、例年のどんど焼きに代わるお焚き上げでの消火訓練のみ実施

### ○救出・救護班

- ・救護用品の在庫棚卸の実施
- ・必要な救護用品の購入
- ・認定資格において上級救命再講習（3年毎更新）の受講

### ○避難・誘導班

- ・避難行動要支援者の募集と名簿更新を図る
- ・「避難誘導班マニュアル」のシンプル化へ見直し中
- ・三輪地区合同防災訓練「避難場所」の間違いを是正 スポーツ広場⇒三輪中央公園
- ・上級救命継続更新講習を1名受講
- ・車いすのメンテナンス台帳を再制作

### ○給食・給水班

- ・班会議2回開催
- ・2021年3月11日 日常備蓄（ローリングストック）啓発のポスター回覧・備蓄品確認チェック表の全戸配布

新型コロナ禍で中止となった  
主な全体活動

- ・三輪緑山防災訓練
- ・三輪地区合同防災訓練
- ・じゅんばんまちかど防災訓練(計9回)
- ・じゅんばんまちかど防災訓練での防災講話
- ・自治会班長向防災ワークショップ



## 災害時使用無線機の更改



自主防災隊では有事に備え、従来より毎月第一日曜日の朝、無線機を使った発受信訓練を行って来ました。一方これまで使用してきたアナログ無線機は2022年11月には使用出来なくなることもあり、今回前倒しでデジタル新無線機に更

改致しました。新無線機での訓練を始めていますが、従来比感度も操作性も大幅に改善されストレスのない訓練となりました。

なお併せて新型コロナ禍での防災活動の一助として、隊員全員に相互感染予防用のフェースシールドを配布致しました。

有名な防災標語のひとつ  
「備えあれば憂いなし」



『安きにありて危うきを思う（居安思危）  
思えばすなわち備えあり（思則有備）  
備えあれば憂いなし（有備無患）』

孔子の著書「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」の讓公十一年の項に『備えあれば憂いなし』として知られる話の元ネタが紹介されている。

春秋時代、晋・宋・齊など十二国の連合軍が、鄭へ攻め入ろうとした。鄭は急ぎ十二国で最大国の晋へ和睦を願い出た。

晋はこれを受け入れ、他の国も進軍を取りやめた。鄭は晋へお礼として大量の貢物を贈り、大いに喜んだ晋王は、財物を家臣と山分けしようとした。しかし家臣・魏縫はそれを固辞し、国王へ『晋国が今たいへん順調な時だからこそ、常に将来の危険を思い起こすべきだ。警戒心があってこそ準備することができ、有事に備えて危機を避けることが出来る。』と直訴した。

平時における備えの重要性を説いた『安きにありて危うきを思う（居安思危＝きよあんしき）』は、防災や危機管理の心構えを表現した成語である。



左丘明（生没年不詳 紀元前480年頃 / 中国故事の春秋左氏伝の著者）

今私たちがすべきは防災備蓄です。

防災用品や保存水、保存食を備えておきましょう。

大きな災害時にはコンビニやスーパーの商品が補充できず在庫切れで無くなってしまいます。被災時に生活用品が無くてつらい思いをしないように日頃の備えをしましょう。

### ◎発災時の協力隊員ご参加のお願い

自主防災隊には現在74名が在籍しております。大地震が発生した場合それぞれの状況下で班活動に全員が参加できるとは限りません。発災時の救助活動等には多くの人手が必要となります。発災時にご自分の家に被害が無く家族もご無事な方はどうか協力隊員として自治会集会所に駆けつけてお声掛けください。防災知識や訓練の経験が無くても出来ることはたくさんあります。ぜひ、ご支援、ご協力をお願いいたします。

### 編集後記

防災ニュースは1年ぶりの発行です。防災隊の活動も、以前のように行えていません。

幸い、大きな災害もなく1年無事に過ごせました。色々な行事が中止になっておりますが、地震のような大規模災害は、中止も延期もありません。その時のための備えをもう一度見直す時期なのかもしれません。